

平成 27 年度 経済学会活動報告

1、見学会

平成 28 年 1 月 23 日(土)

『しぶやを歩く、見る、聞く、体感する～変わる渋谷・恵比寿の再発見～』

國學院大学博物館、白根記念渋谷区郷土博物館・文学館、山種美術館、

恵比寿ビール記念館他 (10 名参加)

引率：古沢広祐 (國學院大學経済学部教授)

秋野淳一 (國學院大學研究開発推進センターPD 研究員)

2、研究会

公開研究会 平成 28 年 2 月 11 日 (木)

資本主義はどこへ向かうのか？—ピケティ『21 世紀の資本』論争を超え、何を展望するか—

(主催：「資本主義再考」研究会、國學院大学大学院特定課題研究グループ)

(共催：國學院大学経済学会)

総合司会：中馬 祥子 (國學院大学経済学部教授)

・報告 1 「資本主義はどこへ向かうのか—貨幣・コミュニケーション・地域の視点から」
西部 忠 (北海道大学大学院経済学研究科教授、進化経済学)

・報告 2 「資本主義が転換する契機とは — 環境・開発レジーム形成の視点から」
古沢広祐 (國學院大學経済学部教授、環境社会経済学)

・報告へのコメント 1 「逆流する資本主義から見えてくるもの」
伊藤 誠 (東京大学名誉教授、理論経済学)

・報告へのコメント 2 「社会に埋め込まれた経済 (ポランニー) からの論点」
室井 遙 (東京大学大学院総合文化研究科博士課程、経済人類学)

・パネルディスカッション (総合討論) 「現代資本主義の矛盾克服の可能性を考える」
パネラー：報告者、コメンテーター

3、懸賞論文

応募総数 20 本

最優秀賞 (青木賞)

・経済 4 年 坂元かおり

論題『山形県鶴岡市の山五十川における民俗芸能の存続—保存組織と経費の視点から—』

優秀賞

・ネット 4 年 矢野称歩

論題『発展を阻むバッド・ガバナンス—サブ・サハラ・アフリカの政治経済学—』

・経済 4 年 秋本麻衣

論題『完成車メーカーにおける研究開発費の会計—IFRS 適用の事例分析をもとに—』

・経営 4 年 鈴木陽介

論題『NBA Regular—Season において勝率の高いチームの研究』

最優秀賞 (青木賞)

1 本

優秀賞

3 本

佳作

6 本

努力賞

5 本

4、『の～びのび経済学』第 16 巻 刊行

参加ゼミナール：全 9 ゼミ

以上